

歌壇

大下一真選

特選

お薬が風邪かぜをひくとう言葉あり懐なつかしく聴きく深夜のラジオ

向丘 高野 伸子

保健所の裏は私の散歩道今朝けさうす紅の椿べに咲き初きむ

向丘 三宅 あき子

つり忍しのぶ江戸風鈴に夕顔は母想おもう夏の三点セツト

白山 唐木 よし子

入選

遠とほき日の従軍看護語り出す惚ほうけて久おしき叔母おばのラバウル

本駒込 森本 豊子

塀越へいごしに乙女椿を見て過ぎぬ父母在りし日の家いへを偲しのびて

千石 小出 風沙子

道端で蓬よもぎを見つよみがえけ蘇くさもちる母の作りし草餅の味

春日 岡田 政己

雑談の出来る医師あり予約日を少し早めて病院を出る

春日 二村 吉光

草分けて訪ぬる寺に誰もなく乾きし絵馬の音のみ渡る

千駄木 伊藤 惠津子

ちらちらと舞ふ小雪なら愛しくも豪雪の地に降る雪恐し

小日向 内野 仙也

睦むつみきし友は皆逝ゆき寂さみしきに短歌うたに親しみ心は和む

西片 松林 利枝

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

指笛ゆびぶえの確かな音色あおばこう青葉光

音羽 森田 幸子

チヨーク絵を地に残してやこいのぼり

向丘 丸岡 正児

花吹雪てんくうばし天空橋を越えにけり

千石 大石 坦

入選

躑躅山つつじやま飛び来る虫に道譲る

向丘 鶴巻 貴代美

しゃぼん玉ほ頬つぺの方が大きいぞ

本駒込 前田 映子

先生も生徒もやそじ八十路花見かな

関口 島 澄枝

葉桜の空の青さと君の声

千駄木 山田 経子

目の下に鯉こいのぼり幟泳ぐ露台かな

千石 菊地 正矩

夜半よわの春夢二の黒猫びよんと逃げ

小日向 内野 仙也

うららかやトトロのやうな猫を抱き

向丘 三宅 あき子